



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 135 号

2015.5.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつかっています。

## も く じ

### お知らせ

- ー高原の自然館の開館日について
- ースタッフ紹介
- ーシンポジウムのご案内

### 活動報告

- ー早春のトレッキング
- ーカスミサンショウウオの産卵調査
- ー山焼き後の雲月山植物観察会

### 観察会案内

- ーブナ林の野鳥観察会
- ー竜頭山の野鳥観察会
- ーモリアオガエルの観察会
- ー天狗石山の植物観察会

## お し ら せ

### ●高原の自然館の開館日のお知らせ

高原の自然館が開館しました。今年も館内やフィールドで、皆様とお会いできることを楽しみにしています。

開館期間：4月25日～11月25日

開館時間：10:00～15:00

休館日：毎週火曜日

※ 祝日の場合は開館し、次の平日が休館日となります。

### ●スタッフ紹介

2015年度の高原の自然館のスタッフを紹介します。自然に関する疑問や質問など、お気軽にお声をおかけ下さい。

学芸員：白川勝信（北広島町教育委員会）

受付事務：河野弥生・前田芙紗

（認定 NPO 法人 西中国山地自然史研究会）

芸北せどやま再生事業担当：曾根田利江

（認定 NPO 法人 西中国山地自然史研究会）

### ●北広島町生物多様性シンポジウムのご案内

日時：2015年5月24日（日）14:00～16:30

場所：広島市まちづくり市民交流プラザ北棟

入場：無料

内容：『生き物を守るアイデアと実践』

・講演・3名

・パネルディスカッション

「生物多様性を保全するのに必要なことは？」

※詳しくは西中国山地自然史研究会のホームページをご覧ください。

<http://npo.shizenkan.info/>

## 観 察 会 報 告

### ●早春のトレッキング

開催日時：2015 年 3 月 7 日（土）10:00

講師：上野吉雄

今年度最後の観察会となる早春のトレッキングが行われました。高原の自然館に9名の参加者が集合し、講師の上野先生から出発前のお話を聞き、霧ヶ谷湿原に向けて出発しました。3月には雪がない年もありますが、今年はまだ残っています。かんじきやスノーシュー、クロカンスキーを履きました。

今回は鳥の姿が多く確認できました。

ミソサザイ、ホオジロ、エナガ、ヤマガラ、コガラ、ツグミに加え、キツツキの仲間であるアカゲラ、アオゲラ、コゲラの姿もありました。

しかし、レンジャクの姿は見えませんでした。

霧ヶ谷湿原の水がよくまわっているところは、雪解けも早く、地面がみえていました。

カンボクの木にはウスタビガの繭が残っていたり、ハタネズミの掘った跡を見つけたり、テンやウサギの足跡もあり、姿は見えないけれど、それぞれのいきものが残した痕跡を確認しました。

雪深い八幡高原では、本当に春が待ち遠しい気持ちになります。

厳しい寒さを乗り越え、いのちをつなぐいきものが身近にいて、ともに生きていることを感じ、暖かい日差しや植物の芽生えを期待しながら、早春のトレッキングを楽しみました。[このやよい]



鳥の姿が見えるかな？



アオゲラの姿がすぐそこに！



それぞれのアイテムで装備していざ出発！



ノウサギの食跡をみつけた。



冬だからこそできる楽しみ！



ウスタビガの繭はきれいな黄緑色。



湿原の中の池は見えていた。



まだこんなに雪が！

### 【みなさんの印象に残った物】

「いろいろな鳥が見えて楽しかった」「アカゲラの姿、鮮やかさ」「アオゲラが間近で見れたこと」「アカゲラ、アオゲラ、カケスを見ることができたことです」「双眼鏡を借りて、色々な鳥やまゆを見たり、鳥の鳴き声が聞けたのでよかったです」「アカゲラをよく見れたこと」「キツツキの仲間を2種類が見れたこと」

### 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「また参加したい」「鳥が多かった」「色々勉強になりました」「鳥の鳴き声が聞こえたら、すぐに名前を教えてもらえて嬉しかったです」「双眼鏡が欲しくなりました」「たくさんの生物が見れて楽しかった」「どんな質問にも答えていただき、有意義な時間が持てた」



## 観 察 会 報 告

### ●カスミサンショウウオの産卵調査

開催日時：2015年4月29日（水）9:30

講師：内藤順一

今年も霧ヶ谷湿原において、カスミサンショウウオの産卵調査が行われました。かつて湿原であった場所が牧場造成工事によって乾燥し、その後八幡湿原自然再生事業によって導水路が設置され、湿原が再生されつつあるのが現在の霧ヶ谷湿原です。去年は成体も観察されたということで、今年はどうかと半ば期待に胸を躍らせながらの調査を開始しました。

まずは高原の自然館の展示コーナーで、講師の内藤先生にサンショウウオの種類や生態について解説していただきました。展示コーナーには様々な標本や分布図が展示されているので、目で確認しながらの解説はとてもわかりやすく、勉強になりました。

今回の調査は、カスミサンショウウオを中心に行います。北広島町で見られる他のサンショウウオは溪流など水の流れがある場所に産卵するのに対し、カスミサンショウウオだけは湿地や湿原に卵を産み、幼生もそこで育ちます。親は通常、湿原周辺の山林に生息し、産卵の時期になると湿原にやってくるそうです。湿原が無くなればカスミサンショウウオが卵を産める場所もなくなってしまいますので、彼らにとって湿原は本当に大切な場所なのです。霧ヶ谷湿原も、湿地化が進み、産卵場所も少しずつ増えてきているそうです。

館内でレクチャーを終えたあと、内藤先生の班と、白川学芸員の班に分かれていざ出発！天気も良く、気温も暖かで風もなく、絶好の調査日和です。調査現場では内藤先生から、水際の調査の方法を初めての参加者にもわかりやすく教えて頂き、調査を開始しました。「イヌツゲがある場所で見つかりやすい」「流れがあるところよりも、流れがないところに卵がある」などのアドバイスを頂き、ぬかるみに格闘しながら探し始めました。しばらくすると、あちこちで「おったー！！」「こっちもあったよー！！」「これ大きいわ！」という歓声があがり、最初は怖がっていた参加者も、いつの間にか率先して湿原に手を突っ込んで卵塊を探しているという、うれしい光景も見られました。今回参加最

年少のお子さんも、自力で卵塊を発見することが出来、とても満足気な笑みを見せてくれました。私たちの班が見つけたものは、尾芽胚中期から尾芽胚後期のカスミサンショウウオの卵塊がたくさんとアマガエル一匹で、残念ながら成体は見つけることができませんでした。もう一つの班は、カスミサンショウウオとヤマアカガエルの卵塊、ヤマアカガエルの成体、オオコオイムシを見つけたそうです。カスミサンショウウオの成体は、今年は両班とも空振り。来年の調査に期待です。

この調査では、参加者が専門家と一緒に調査をすることで、広範囲を調べることができます。なおかつカスミサンショウウオをはじめとした湿地帯に生息する生きものの生態や生息状況を確認できることで、多くの方々に生物多様性の重要性を実感していただける大切な場になっていると思います。各地で湿原の面積の減少が進む中、少しでも湿原の生きものや彼らを取り巻く生息環境の現状について興味を持っていただければと思います。

今年の調査は本当に天候も良く、皆さんに楽しんでもらえたのではないのでしょうか？来年も良い天気でありますように！[まえだふさ]



自然館の中で、サンショウウオについて説明される内藤先生と、真剣に聞く参加者。





どきどきしながら、調査現場に出発！



泥も気にせず、みんなで頑張って探しました。



先生から説明を受けて、さあ調査開始。ちゃんと卵塊を見つけれれるかな？

### 【みなさんの印象に残った物】

「やっと卵を見つけることができました。」「卵でなく、えらがある状態を見れた。」「卵を見つけたことです」「見つけることができず残念」「長靴半分まで埋もれて、ズコッと抜けた時のふしぎな感覚。もしかして何か卵をつぶしていないか不安になったこと」「たまごがとれよかった。」「先生の説明、たまごを見つけたこと。」「たまごを見つけた時の子供の笑顔」「たまごを見つけたこと(2)」「サンショウウオのたまごが見れたこと」

### 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「楽しかったです」「一つも見つけられなかった」「楽しかったです。また参加させてください。」「とても楽しかった」「なかなか見つからなくて、去年のアドバイスを思い出しながら見つけることができてよかった。」「つぎもいきたい。」「楽しかったです。また参加したいです。」「貴重な体験でした」「気持ち悪いと思っていたが、見つけると楽しくなってきました」「すごくたのしかった」「湿原に来ることがないので面白かったです。」



「あった！！」  
興味津々で卵塊を見つめる参加者。



## 観 察 会 報 告

### ●山焼き後の雲月山植物観察会

開催日時：2015 年 4 月 26 日（日）9:30

講師：大竹邦暁・佐久間智子

山焼きから2週間たち、雲月山の様子はどうか？と期待を持ちながら、12 名のみなさんが観察会に参加くださいました。

今回の講師は大竹先生、佐久間先生です。最初に芸北文化ホールに集合し、雲月山の山焼きの歴史や地質、植生のお話を聞きました。佐久間先生の調査によると、雲月山に生息する植物の種類は300 種を越え、中には絶滅危惧種も含まれていると聞き、改めて貴重な植生の間所なんだなあと感じました。

また、火入れの歴史は古く、人の営みで草原が成り立っていることがよくわかりました。大竹先生から、火入れの動画も見せていただきました。

気持ちのいいお天気のもと、移動して登山の開始です。

登山道を登りながら、目に入る草花の説明を聞いたり、触れたり、匂ったりと体感しながら観察をしました。

ニオイタチツボスミレやイカリソウ、センボンヤリなど花を咲かせている植物、アカマツとクロマツの手触りの違いなど、図鑑だけではわからない楽しさを味わいました。

参加者からも、「ここから火を入れたんよ」「ここは防火帯をきったところ」など、山焼きの様子を交えながら、ゆっくりと歩きました。

島根県との県境を楽しんだり、山なみを眺めたり、頂上で記念撮影をしたりと山登りを満喫しました。

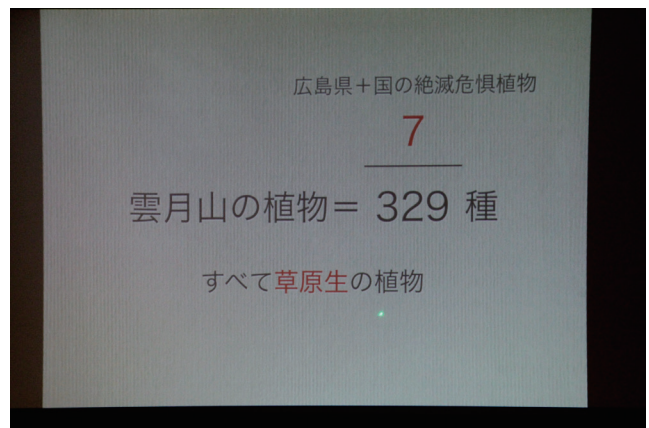
山焼きが続いているからこそ、この景観といきものの環境が守られている事を、しっかりと感じた観察会でした。

これからの季節も次々と花が咲き、鳥がさえずる雲月山に度々行きたくなることでしょう。しっかりと見守っていきたいです。

〔 ころのやよい 〕



芸北文化ホールでまずは座学。みなさん真剣に聞き入ってる。



佐久間先生のスライドより。



大竹先生による岩の説明。





青空がひろがり，登山日和だった。



ショウジョウバカマの生態について説明する佐久間先生。



ニオイタチツボスミレが群生していた場所，香りはどうかな？

### 【みなさんの印象に残った物】

「シオカラトンボの幼虫（ヤゴ）を見つけたことです。」「すみれ」・・・今まで，すみれは種類が多くてよくわからなかったのですが，今日説明を伺って勉強してみようと思いました。」「アカネスミレをはじめてみました！岩の違いがよくわかった。」「スミレがたくさん，モウセンゴケも観れてラッキー」「スミレの種類が多いのにびっくりしました。」「新しいスミレ，アカネスミレをみました。」「モウセンゴケ，スミレたくさん」

### 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「楽しかったです。」「天気も良く，風も気持ち良く，そして気づかなかったこともいろいろ教えていただけてとても良かったです。」「たくさん花が咲いていて，ラッキーでした。天気も良くて岩のサンプルもあって，よかった。」「たくさん花を見て名前を覚えられて非常にラッキー」「たくさん植物があり，それぞれたくましく生きているのだとあらためて感じた」「座学もよかった。天気が良くのんびりできました。」「楽しかったです。はじめての雲月山，良かったです。」



恒例の山頂での写真撮影，みんなで声をそろえて「やっほー！」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット：**山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

**作業セット：**作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

.....

### ●ブナ林の野鳥観察会

開催日時：2015年5月17日（日）5:00  
集合場所：雪霊水  
講師：上野吉雄  
定員：30名  
準備物：基本セット・あれば双眼鏡、フィールドスコープ  
参加費：一般＝300円、賛助会員＝100円  
正会員・中学生以下＝無料

早朝のブナ林で野鳥を観察します。留鳥のヒガラやミソサザイ、夏鳥のコルリやオオルリ、クロツグミやキビタキなどのさえずりを聞いたり、姿を観察します。アカショウビンの姿も観察できるかもしれません。早朝は冷え込みますので、暖かい服装でお越しください。

### ●龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2015年6月13日（日）6:00  
集合場所：道の駅 豊平どんぐり村駐車場  
講師：上野吉雄  
定員：30名  
準備物：基本セット・あれば双眼鏡、フィールドスコープ  
参加費：一般＝300円、賛助会員＝100円  
正会員・中学生以下＝無料

豊平地区にある龍頭山で野鳥観察を行います。早朝の山や麓の溜め池をゆっくりと歩きながら、カラ類やメジロ、イカルやクロツグミなどの鳴き声や姿を観察しましょう。アカショウビンやカワセミなどの姿も見られるかもしれません。

### ●モリアオガエルの観察会

開催日時：2015年6月14日（日）9:30  
集合場所：原東生活改善センター  
講師：内藤順一  
定員：30名  
準備物：基本セット・長靴  
参加費：一般＝300円、賛助会員＝100円  
正会員・中学生以下＝無料

北広島町では、最大の生息地である上石地区の農業用溜め池で、モリアオガエルを観察します。普段は姿を見ることが難しいモリアオガエルですが、産卵の時期になると、溜め池に集まった姿を目の前で見ることができます。産卵中の個体も確認できるかもしれません。雨具や長靴をご用意ください。

### ●天狗石山の植物観察会

開催日時：2015年6月20日（土）9:30  
集合場所：未定  
講師：斎藤隆登・佐久間智子  
定員：30名  
準備物：基本セット・お弁当  
参加費：一般＝300円、賛助会員＝100円  
正会員・中学生以下＝無料

※ 観察会は事前申し込みが必要です。

4月から新しく高原の自然館のスタッフになりました、前田英紗と申します。これから色々とお世話になると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

八幡の新緑もだいぶ濃くなってきました。早朝や夜はまだ肌寒く感じることもありますが、日中になるととたんに汗ばむような日もあったりと、ああ春が終わって夏がやってくるんだなーと実感しています。  
[まえだふさ]

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 10119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)